**工学部学生用**

**2019年度　春季短期派遣プログラム**

**派遣学生募集要項**

**１．概要**

本学は、研究大学としての地位を確立することを目標に掲げ、世界に向けて日本を牽引する大学として、国際社会で指導的な役割を担う高度なプロフェッショナルの育成を目指しています。2024年創基150周年に向けて、世界と競える先端研究力を一層強化していくためには、国際社会との対話力を持った人材を育成する教育の充実が必要不可欠となっています。

本プログラムでは、学部レベルからの語学力（英語力）とそれを駆使したコミュニケーション力の強化、専門科目への導入及び国際社会との実践的関りを目的として、複数の研修を実施します。本プログラムで得た経験を、今後の学業・進学・就職に活かし、さらに第2ステップとしてより長期の留学等につなげてほしいと思います。

**２．プログラムの内容**

***（１）派遣先、派遣期間、費用概算、派遣人数***

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | プログラム名 | 派遣先 | 期間 | 費用概算 | 人数 |
| E1 | スインバーン工科大学語学研修 | オーストラリア/ スインバーン工科大学 | 3/1－3/14(14日間) | ３6万円 | 25名（工のみ） |
| E2 | インドネシア大学総合研修 | インドネシア/ インドネシア大学 | 3月上旬～(14日間) | 20万円 | 16名（工のみ） |
| Z1 | ミャンマー国際貢献研修 | ミャンマー/ イエジン農業大学、ヤンゴン工科大学他 | 3/8－3/18(11日間) | 22万円 | 16名(農工) |
| Z2 | ケンブリッジ大学英語ブラッシュアップ研修 | イギリス/ ケンブリッジ大学 | 2/23－3/7（14日間） | 55万円 | 10名(農工) |
| Z3 | 上海異文化体験研修 | 中国/ 上海交通大学他 | 3/9－3/11（3日間） | 8万円 | 15名(農工) |
| Z4 | ハワイ地域産業体験研修 | アメリカ/ ハワイ大学他 | 2/24－3/7(13日間) | 40万円 | 10名(農工) |

＊プログラムZ1・Z4についてのみ、博士後期課程を除く全学生参加可能です。

＊事前の渡航ガイダンスを2019年11月下旬から順次実施します（日程は決まり次第参加者にお知らせいたします）

＊日程、費用等は現在調整中のため変更する場合があります。

プログラムの最新情報は東京農工大学留学ポータルサイト(http://web.tuat.ac.jp/~studyabroad/)を参照してください。

***（２）派遣内容***

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | プログラム名 | 分類 | プログラム概要 | 単位数 |
| E1 | スインバーン工科大学語学研修 | 語学(初中級～)、専門 | スインバーン工科大学における英語研修プログラムの受講、専門科目の聴講、バディ学生との交流、ホームステイ等を通し、基礎的な英語能力を向上させる。 | 1 |
| E2 | インドネシア大学総合研修 | 専門、インターンシップ、文化 | インドネシア大学において、専門科目への参加、インドネシア語・文化研修、企業インターンシップ、バディ学生との交流を通して、総合的なグローバル力を培う。 | 1 |
| Z1 | ミャンマー国際貢献研修 | 地域研究 | 第2次世界大戦での日本軍の足取りを辿り、アジアにおける日本とミャンマーとの協力の歴史を考察し、現在の日本のＮＧＯやＯＤＡの取り組みや国際機関の取り組みを学ぶ。 | 1 |
| Z2 | ケンブリッジ大学英語ブラッシュアップ研修 | 語学(上級) | ケンブリッジ大学が行う短期プログラムに参加し、英語によるディスカッションやディベート、特別講義の聴講を通して英語能力を向上させる。 | 1 |
| Z3 | 上海異文化体験研修 | 異文化体験 | 協定校や企業訪問、現地学生との交流を通して、中国における商業・金融・工業・交通などの中心地としての上海を異文化として体験する。 | 0 |
| Z4 | ハワイ地域産業体験研修 | 地域研究＋インターン | ハワイ大学マノア校において農学特別講義を受講し現地教員・学生との交流を行い、そこで得られた知見や洞察をどのように地域活動へとつなげるかを企業訪問やインターン活動を通して探る。 | 1 |

***（３）単位***

各プログラムで設定した目的を達成し、以下の全てを満たした場合、「工学部特別講義（科目名は調整中）」として上記(2)「派遣内容」記載の単位数が与えられます。なお、大学院生でプログラムZ1・Z4に参加する場合は、別途教務係に相談してください。

1. 事前学習に参加すること
2. 派遣先大学における研修に参加すること
3. 報告書の提出または報告会での発表をすること
4. 原則、最終学年次生は本留学による単位認定は不可

***（４）派遣費用***

プログラムへの参加費用の内訳については以下の通りです。

* プログラム参加費用に含まれる基本的な費目は、航空運賃、プログラム参加費、現地宿泊費であり、参加者が各自負担します。また、為替レート等の変動により増減の可能性があります。
* 航空チケット・現地宿泊施設の手配は大学が行います（学生個人が、個別に手配する必要はありません）。
* その他の費用：パスポート申請費用、海外旅行保険料、現地の空港から大学／宿舎までの移動および現地市内の交通費、現地での活動等に係る費用（交通費、入場料等）、滞在中の飲食費・小遣い等も自己負担となります。

***（５）奨学金***

本プログラムの目的を理解し、今後、グローバル人材として活躍するための素養を身につける努力を惜しまない学生に対して、以下の条件を満たした場合、渡航地に応じた奨学金を別途調整の上、支給します。手続き等詳細については研修参加が決定してから通知します。

１）前年度の成績（要件外科目を除く）をもとに計算したJASSO成績評価係数が原則として3.00満点で2.30以上である学生　（ただし、本学の海外派遣プログラムに初めて参加する学部1・2年次学生はこの限りではない）

・学部1年次学生（及び今年度入学の編入生）は「令和元年度前期」の成績で計算

・学部2年次以上（大学院生含む）の学生は「平成30年度前・後期」の成績で計算

成績評価係数については、以下の算出方法をもとにJASSO「成績評価ポイント」を換算し、小数点第３位を四捨五入して算出する。

【JASSO成績評価指数の算出方法】“S”と“A” を同じ評価ポイント3で計算します。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 成績評価 |
| 5段階評価(パターン5) | S | A | B | C | D |
| 成績評価ポイント | 3 | 3 | 2 | 1 | 0 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| (計算式） |  |  |  |  |  |
| (「SとAの総単位数」×3)＋(Bの総単位数」×2)＋(Cの総単位数」×1)＋(Dの総単位数」×0)――――――――――――――――――――――――総登録単位数 |

２）プログラム参加の意思及び適性を確認する面接選考等を受けること

本奨学金支給の可否の決定に当たり、以下の点を考慮します。

-本年度、既に本学の海外派遣プログラムの奨学金を受給している者には本奨学金を支給しない。また、予算の状況によって、本学の海外派遣プログラムへ参加したことがある者に本奨学金を支給しない場合がある。

－併給を認めていない奨学金を受給している場合は、本奨学金を受給することはできない。たとえば、ＪＡＳＳＯ給付型奨学金と本奨学金を併給することはできない。もしも受給している場合、本奨学金を受給するためには給付型奨学金の休止手続きが必要となる。

－学生の家計状況に配慮し、ＪＡＳＳＯ「第二種奨学金」の在学採用の家計基準を満たした場合、優先的に本奨学金を支給する。優先採用を希望する者は、収入・所得を証明する書類（※参照）及び**別紙1又は2「家計状況自己申告シート」**を提出すること。なお、家計状況が条件を満たしても、優先採用を希望しない場合は提出不要。

以下に該当する学生は「第二種奨学金」(在学採用)の家計基準を満たす可能性がある。

1. 現在、第一種、第二種奨学金を受給している者
2. ＪＡＳＳＯホームページ「家計基準」に掲載の収入・所得の目安を超えないもの

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/seido/kijun/zaigaku/index.html

※上記URLから「大学での奨学金」「大学院での奨学金」の内、該当する方を選び、「2．家計基準」を確認してください。

*【注意】「収入・所得を証明する書類」は、学部生の場合、家計支持者（両親等）の“源泉徴収票、確定申告書、非課税証明書” 等の写しです。手配に時間を要する書類なので、書類の準備は余裕をもって行ってください。*

**３．説明会開催日程(小金井キャンパス)**

全学海外派遣プログラム説明会

日時：10月3日(木)　12:05～12:50

場所：13号館4階L1341講義室

春季短期派遣　全学プログラム説明会（Z1～Z4）

日時：10月10日(木)　12:05～12:50

場所：13号館4階L1341講義室

春季短期派遣　工学部プログラム説明会（E1、E2）

日時：10月18日(金)　12:05～12:50

場所：13号館4階L1341講義室

**４．応募・選考**

***（１）応募資格***

①本学工学部に在籍する学部生1～4年次。　プログラムZ1またはZ4については本学大学院博士前期課程及び修士課程１～2年次も応募可能。

＊留学生はプログラムの内容や状況に応じて相談

＊4年生は博士前期課程及び修士課程進学が確定している者

②以下のいずれかと同程度の英語力を有することが望ましい。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 語学レベル | ＴＯＥＦＬ　ＩＴＰ | TOEIC | ＩＥＬＴＳ | 英検 | プログラム名 |
| ＣＥＦＲ　Ｃ１以上 | ６２７－６７７ | ９００－ | ７．０－８．０ | 準1級以上 | ケンブリッジ大学英語ブラッシュアップ研修ハワイ地域産業体験実習 |
| ＣＥＦＲ　Ｂ２以上 | ５４３－６２６ | ７０１－９００ | ５．５－６．５ | 準1級以上 | インドネシア大学総合研修 |
| ＣＥＦＲ　Ｂ１以上 | ４６０－５４２ | ４６１－７００ | ４．０－５．０ | 2級以上 | スインバーン工科大学語学研修 |
| ＣＥＦＲ　Ａ２以上 | ３３７－４５９ | １１０－４６０ | － | 準2級以上 | ミャンマー国際貢献研修上海異文化体験研修 |

＊他の英語スコアとの対照表は以下のサイトもしくはＱＲコードからアクセス

<http://web.tuat.ac.jp/~studyabroad/1402610_1.pdf>

③本プログラムで得た経験を、今後の大学院進学や就職に活かそうとする意思があること。

④今後、本学受入れの留学生とともに学びながら授業・フィールドワークをサポートし、日本で生活などを助け合う「バディ制度」に協力すること。

***（２）応募書類***

①参加申請書（p. 6）

②英語力を証明できるもの（コピー可。ない場合は不要。）

③成績証明書

④パスポートコピー（写真が鮮明に見えるコピー）＊すでにパスポートを取得している場合

⑤派遣事業応募に際しての承諾書兼誓約書（p. 7）

***（３）応募・選考スケジュール***

公募期間： 2019年10月１日（火）～１０月25日（金）

申請書類提出期限： 2019年１０月２５日(金)　1６:00厳守

申請書提出先： 工学部教務係

　※応募する学生は、自身が所属している学科の教育委員に、事前にプログラム申請書コピーを提出してください。

第一次選考（書面審査）合格発表：　 2019年１1月7日（木）（予定）

第二次選考（面接審査）： 2019年１１月16日（土）　終日（予定）

最終選考結果通知： 2019年１１月21日（木）　内定発表(予定)

***（４）選考基準***

①第一次選考：書面審査

＊語学力、成績、申請書記載内容から総合的に評価。

②第二次選考：面接審査

＊以下の内容に関する質疑応答により、本プログラムへの理解と意欲等について総合的に評価。

(1) 志望動機

(2) プログラムを通しての学習目標

(3) 将来の進路希望

(4) 国際交流活動への意欲や経験

(5)　コミュニケーション力

**５．問い合わせ先**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | プログラム名 | 担当者 | 連絡先 |
| E1 | スインバーン工科大学語学研修 | 野間竜男　教授 | noma@cc.tuat.ac.jp |
| E2 | インドネシア大学総合研修 | 田崎敦子　准教授 | tasaki@cc.tuat.ac.jp |
| Z1 | ミャンマー国際貢献研修 | 横森佳世　准教授 | yokomorikayo@go.tuat.ac.jp |
| Z2 | ケンブリッジ大学英語ブラッシュアップ研修 | 野間竜男　教授 | noma@cc.tuat.ac.jp |
| Z3 | 上海異文化体験研修 | 田崎敦子　准教授 | tasaki@cc.tuat.ac.jp |
| Z4 | ハワイ地域産業体験実習 | 若松弘起　助教 | h-wakamatsu@go.tuat.ac.jp |
| 春季短期派遣全体問合せ◆グローバル教育院：野間　竜男　教授　noma@cc.tuat.ac.jp　042-388-7615◆学生支援室教務係： tkyomu1@cc.tuat.ac.jp　042-388-7010 |

**2019年度　春季短期派遣プログラム　　　参加申請書 （工学部学生用）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| フリガナ | （セイ） | （メイ） |
| 氏　名 | （ 姓 ） | （ 名 ） |
| 氏名（ローマ字） | （※パスポートの表記又はパスポート申請予定の表記と同様） |
| 所　属 | 学部 | 学科 | 年 | 学籍番号 |
| 連絡先 | 携帯電話：E-mail　： |
| 語学力 | TOEFL（iBT・PBT・ITP）・TOEIC・IELTS・英検 点・級※いずれかに○をしてください。 （平成 年 月 日時点） |
| 留学経験(農工大入学以降) | ①時期：　　　　年　　　月～　　　　年　　月　国名＿＿＿＿＿＿＿ ＪＡＳＳＯ奨学金　有・無②時期：　　　　年　　　月～　　　　年　　月　国名＿＿＿＿＿＿＿ ＪＡＳＳＯ奨学金　有・無③時期：　　　　年　　　月～　　　　年　　月　国名＿＿＿＿＿＿＿ ＪＡＳＳＯ奨学金　有・無 |
| 参加希望プログラム（参加意思のあるプログラムのみ） | 第1希望(プログラム No.) |
| 第2希望(プログラム No.)　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※ない場合は空欄 |
| 第3希望(プログラム No.)　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※ない場合は空欄 |
| 国籍 | (外国籍の場合、永住許可；有・無) |
| 奨学金受給状況 | 現在受給している奨学金：　　有・無　（有を選択した場合）　奨学金名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　併給：　可・否　　　　　　　　　　月額：　　　　　　　　　　　　　　円 |
| 保証人同意 | 上記申請者が、東京農工大学海外短期派遣プログラムに参加することに同意します。保証人氏名： （自署）(申請者から見た続柄：　　　　　　)（連絡先電話番号：　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 家計基準による奨学金の優先採用希望 | 有　　　無　　(1)優先採用を希望する者は、別紙1又は2「家計状況自己申告シート」を所得証明書類とともに提出してください。 (2) 優先採用の希望は任意です。家計基準を満たすと思われる場合でも、優先採用を希望しない場合は「無」としてください。  |
| ◆志望動機◆（＊応募に至った動機やプログラムを通しての学習目標、将来の進路希望、国際交流活動への意欲や経験等） |

**◆締　切：2019年10月25日（金）1６：00厳守**◆提出先：（工学部）工学部　教務係

※　応募する学生は、自身が所属する学科の教育委員に事前に本申請書コピーを提出して下さい。

東京農工大学長 殿

東京農工大学派遣事業応募に際しての承諾書兼誓約書

　私は、東京農工大学派遣事業への応募にあたり、同事業の趣旨を理解し、以下の事項を承諾（誓約）します。

　なお、承諾（誓約）事項に違反した場合は、参加資格や奨学金・助成金を含む東京農工大学（以下「本学」という。）の支援を取り消されても異議を申し立てません。

＜遵守事項＞

1. 日本での事前説明会、及び現地での研修に全て参加し、本学が指定する提出物等の期限を遵守すること。

2. 派遣先の国又は地域では自己の責任において危機管理を行うこと。

3. 渡航時や帰国時、研修・団体行動を離れる時間（研修の設定されていない時間）での活動については自己の責任において行動すること。

＜同意事項＞

なお、上記項目の遵守に関連して、以下の事項に同意します。

1. 所定の期限以降に参加を辞退又は期間を変更する場合は、原則、キャンセル又は変更に伴う料金の全額又は一部を支払うこと。

2. 派遣前及び派遣期間中に、この誓約書に記載された事項に違反するなどして、本派遣の参加者として不適格であると派遣先大学又は本学が判断した場合には、本学は、本派遣への参加資格を取り消す権利を有している。参加許可を取り消された場合、参加費用を納入した後であっても参加費用の返金については原則、行われない。

　　　　年　　　　月　　　　日

学生氏名（自署のこと）　　　　　　　　　　保証人氏名（自署のこと）